

2023 第 1, 2, 3 RUTC 答え 25 (39) (社) 世界福音化伝道協会 www.weea.kr			
2023 年 10 月 14 日週間祈りカード/第 20 次 2023 世界軍宣教大会「世界の軍隊に絶対やぐらを建てる弟子」(使 19:21, 23:11, 27:24)			
△産業宣教 産業人の伝道の絶対やぐら(使 4:32-37)	△レムナント伝道学 答えの基準を知っているレムナント (使 19:8-10)	△核心 伝道弟子の 24 祈り(エペ 6:18)	△散らされた弟子たち 残す者(使 1:8)
□序論 だれでも絶対やぐら、絶対旅程、絶対道しるべを見つけ出さなければならない。レムナントがこれを見つければ、世界福音化することができる。 1. 絶対やぐら(7) - <u>三位一体、御座、3 時代</u>絶対やぐらの最も鍵は、三位一体の神様、御座の祝福だ。このとき、3 時代を生かすことができる。力が見えて、暗闇の権威を持つ支配者が世の中を動かすことができる。あらかじめ答えが見えて、三つの庭をどこでもすべきだということが出てくる。 2. 絶対旅程(7) - 道(キャンプ)三位一体の神様の道に従って行くのだ。神様の奥義、神様が与えられた 10 の土台、神様が世の中を変えたその流れ、困難の中に行かなければならないので確信、一生の答えを持って行く。私たちが行く道はキャンプだ。 3. 絶対道しるべ(3) - <u>13, 16, 19</u>何をしても、神様がさせられる働き、場所、出会いが出てくる(使 13:1-4)。道がふさがったとすれば、大きなターニングポイントを迎えたのだ(使 16:6-10)。マルコの屋上の部屋にあったことが、そのとおりに起こった(使 19:1-7)。ティラノ運動が起こり、ローマへ。 □本論_時刻表 1. 献身-乏しさ x 初代教会の産業人は、本当に神様に献身できる時刻表に献身した。 1) 3000 弟子が起きた、人にはできない。 2) 5000 弟子が起きた。 3) それほど迫害するのに、足りないことがない。 2. 献金の時刻表 1) 自分が持っている物質を神様の前に出した(32 節)。初代教会が世界に向かって始まる最初の時刻表 2) ある人は、自分の家を出したり 3) バルナバは自分の畑を売って献金をすることもした。 △神様の時刻表に世界福音化する時刻表にささげる献金は、世界を動かすのだ。 3. カ-証し 1) 復活-御座 今でもその御名で答えが起こっている。復活されたキリストが御座で働いておられるので、暗闇の勢力は砕かれる。 2) 病んだ者が癒された-使徒が大きい力で主イエスの復活を証し(33 節) 3) 宣教の門 サマリアの門が開いてエチオピアの宦官が来ている。多民族に神様の力が証しされる時刻表 □結論 1. 皆さんの職業が絶対未来が見えるように。祈れば良い。 2. 皆さんの職業が 300%準備される絶対やぐら 3. 未来を生かす絶対経済が出てくる	□序論 レムナントは<u>答えの基準</u>をよく分からなければならない。Tacit Power は目に見えない力を言う。Tacit Answer 一般の人々が分からない答えもある。 □本論 1. J の教えられたこと(祈り) 1) <u>マタ 6:10</u>神の国が臨みますようにと祈りなさい。 2) <u>マタ 10:7</u>伝道しに行つて、神の国が近づいたと話なさい。 3) <u>マタ 6:33</u>神の国と義をまず求めなさい。そうすれば、すべてのことをそれに加えて与えられる。 4) <u>使 1:3</u>神の国のことを 40 日間説明された。 5) <u>マタ 12:28-30</u>聖霊が臨んでサタンの国が縛られれば神の国が臨んだのだ。 2. 最後のミッション 1) 復活の主がみことば 2) 神の国のこと。御座で起こることを説明 3) 使 1:8 ただ聖霊が臨めば力を受けて証人になる。 3. 会堂に行つて伝えたこと 1) 使 19:8 <u>神の国</u>3 か月間、大胆に神の国を教えた。 2) 3 か月(会堂) 3) 講堂(2 年) 2 年間教えた。 △レムナントは目に見えない力、答えから持たなければならない。レムナントの使命は衣食住、成功でなく、その後のことだ。「ただ」それゆえ、イエス様がただと言われた。レムナントは他の人が分からない力、答えを持っていなければならない。 □結論 <u>タラント</u>は神様が与えられることだが、祈りを分かれば簡単に発見 <u>天才</u>上から神様が与えられること <u>専門性</u>を持ちなさい。<u>世界化</u>させなさい。皆さんが持っている、学んだことが強大国から皆さんを呼ぶほど準備しなさい。 5 力これを(Tacit Power, Tacit Answer)指して 5 力と言う。	創 39:1-6、ダニ 6:16, 20、エペ 6:18、I テサ 5:17、ロマ 1:9 24 祈り→5 力伝道弟子の 24 祈りチームになれば幸せ、力が生まれる。 イエス様が与えられたことが出て来る。 <u>捨てること(変えること)</u> -間違つた幸い、祈り、礼拝→まず神の国と神の義、あなたの目の梁から抜いて兄弟と和解して礼拝 <u>公生涯 3 年</u>-変えること→福音ならばなるようになっている。 <u>見つけること</u> <u>マタ 16:16、マタ 17:1-9</u>-キリスト(サタンに勝った王、呪われて地獄行かなければならないのにそれをなくした祭司、神様会って聖霊が臨む祝福を味わえないので道を開かれた真の預言者)。モーセ、エリヤも、来られるキリストを信じて救われた。 <u>味わうこと</u> <u>7・7・3</u>三位一体の神様、御座の力、空中の権威を持つ支配者に勝つ権威、世界を生かす 5 力、あらかじめ CVDIP で臨む神様の契約、三つの庭 私の道を三位一体の神様が導き、どんな場合にも勝つ奥義と土台、流れを変える奥義、危機のときに勝つ確実な答え、一生の答え、私が行く道はキャンプ。どんなことをしても、確実な答えを受けて行きなさい。門がふさがったとすれば、生涯で最も良いターニングポイントだ。心の中にローマを生かさなければならない。 □序論_5 力 1. 祈りが成り立つほど 2. 平安なこととして味わいなさい。祈りができるほどゆっくり呼吸しなさい 3. みことばをこれ(表)で適用させれば良い。 →神様が与えられる <u>24</u>できる<u>課題</u>が作られる。 □本論 1. 定刻祈り-伝道者が<u>ともに</u>疎通、祈る課題が出てくる 1) 使 3:1-12 午後三時の祈りの時間 2) 使 16:13 祈りに行ってリディアに出会い 3) 使 16:16-18 祈る中にキリストの御名で悪霊を追い出した 2. <u>一人</u>で-生活の祈り 1) 詩 5:3 目を開けたら祈り 2) 詩 17:3 寝る前に 3) 詩 23:1-6 昼にいつでも祈り 3. こと-キャンプを控えて 1) 使 13:1-4 聖霊の導きを受ける答え 2) 使 16:6-10 人生のターニングポイント 3) 使 19:1-7、21 マルコの屋上の部屋に起こったことを味わう、ローマ 4. 職業-以降にすべき事があるため 1) ローマも見なければ 2) ローマでも証ししなければ 3) カエサルの前に△冒険でなく、確実な神様の絶対計画の中に 5. 問題-集中祈りの答えが出てくる時まで→感謝 1) II コリ 12:1-10 私の弱さを誇ると言ったパウロ 2) 使 27:10-25 暴風に会ったとき、深い祈りの中で受けた答えを伝えた □決断_ <u>24・25・00</u>する人で、<u>ロマ 16 章の祈りクラブ</u>が出てくる。 1. 支援者、同労者、家主 2. 秘密決死隊、Holy mason 3. ロマ 16:25-27 世々にわたって隠されていたこと、とこしえにあることを与えられる。	残りの者(福音を回復した者) 残る者(上から与えられる力回復) 残れる者(みことばの力で光の文化回復) 「残す者」とは(使 1:8) (次世代回復) 1. RT の絶対やぐら必要 1) 創 37:11 ヨセフ 24 CVDIP、出 2:1-10 ヨケベデを立ててモーセに絶対やぐらを与えた 2) I サム 3:1-19, 16:1-13 福音とともに祈りの力を知ることができるように 3) I 列 19:19-21、II 列 2:9-11 エリシャ 4) ダニ 1:8-9 イザヤのメッセージを握って決断をくだした 5) 使 1:1, 3, 8 で絶対やぐらを建てた 2. 絶対やぐらの内容 1) 申 6:4-9(神様の契約と力を刻印、根、体質にするカデシュ・バルネア運動) 2) I サム 7:1-15 ミツパ運動 3) II 列 6:8-21 ドタンの町運動 4) ダニ 6:10-22(見張り人運動をしたダニエル) イザ 62:6-12 5) 使 17:1, 18:4, 19:8 会堂運動 3. 絶対やぐらの基準-フォーラムする準備をしなければならない。 1) キリストの当為性で答えを出す 2) 祈り(礼拝) 3) 神の国 □結論_絶対やぐらよりさらに貴重なやぐら「たましい愛」

2023 第 1, 2, 3 RUTC 答え 25 (41) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr			
2023 年 10 月 15 日 週間祈りカード			
△区域メッセージ (第 42 週) 真の幸せ (5 つの祈り) と 25 の答え (ピリ 4:6-7)		△聖日 1 部礼拝 人を生かす伝道弟子 (コロ 4:1-8)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 モデル教会 (I テサ 1:1-7)
ピリ 4:6-7 に「何も思い煩わないで」と言われた。心配事を感謝をもってささげる願いと願いによって、神様に知っていただければ「すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます」これが真の幸せだ。これを知ったパウロは、監獄での時間が世界福音化する最高の時刻表だった。このとき、25 の答えが起こり始める。 □序論_福音を味わう祈りの幸せ		□序論_人を生かす弟子が持っている奥義 1. キリストの奥義 (3 節) 1) 7 やぐら (1) 三位一体の神様がともに (2) 御座 (3) 3 時代 (世界福音化) (4) 力 (5) ただ聖霊で暗闇を砕く権威 (6) 未来に行く道 (7) 次世代を生かす道 2) 7 旅程 (7 やぐらを持って行くこと) (1) 三位一体の神様が働き (2) 10 の奥義 (3) 10 の土台 (4) 世の中の流れを変える奥義 9 つ (5) 確信 5 つ (6) 一生の答え 62 (7) 行く所ごとにキャンプ 3) 道しるべ (使 13, 16, 19) 2. 現場に現れる奥義 (4 節) -すべてを祈りに変えなさい。 1) 奴隷に行ったヨセフ 2) 濡れ衣を着せられて監獄に行ったヨセフ 3) ヨセフを忘れていた長官 (王の夢を解き明かすとき思い出す) 3. 未来をあらかじめ教えた奥義 1) パウロ イスラエルと異邦人と王の前に立つ選びの器 2) 皆さん ただ聖霊で力を受ければ地の果てまで証人 3) 神様が皆さんにだけ与えようとされる奥義 (ロマ 16:25-27) □本論 1. 絶対不可能の中で絶対可能を味わった者の祈り 1) ヤコブとヨケベデ 2) ハンナとエッサイ 3) エリヤ、エリシャ、オバデヤ 4) ダニエルと三人の青年、エステル 5) パウロとロマ 16 章の人々とローマ福音化 ※キリストの奥義を持っているひとりだけいても可能だ。 2. 霊的なことと事実、現場、教会で、私は不可能だが、神様の力で可能なその奥義を見つけること 1) 霊的な奥義 (2 節) 祈りで目を覚ましていなさい。 2) キリストの奥義 (3 節) を伝える所に私の産業が用いられるように (3 節) 3) 現場に隠された奥義 (5 節) -未信者に対しては機会と知恵を持ちなさい 4) 人々の中に入っている神様の奥義 (7-8 節) 3. 神様の絶対条件である空前絶後の神様の奥義 1) パウロ 2) シラス (監獄で一緒に) 3) テモテ (リステラから出た最高の弟子) 4) ビレモン (パウロの伝道を全面的に助けた者) 5) オネシモ-盗みをして監獄で福音を悟り、完全に弟子になった人 □結論_神様の慰めを受けなさい 1. 真の慰めは、人の慰めではなく、神様の慰め 1) その地域がどれくらい重要なのか教えた 2) 私がだれなのか教えた 2. 伝道者が受けた慰め-神様はいのちをくださったので、世界福音化できて光の経済と伝道、回復。無能も神様の力によって変えることができる。 3. 237、5 千種族を生かす実際のなやぐらを建てなさい-すべての重職者、教役者、多民族が祈って宣教できる部屋、宣教センター	みことばのとおり生きたユダヤ教、多くの文化を残した中世教会を神様が拒否された理由、現代キリスト教が力がない理由を分かってこそテサロニケ教会のようにモデル教会となる (7 節) □序論_神様が願われることをすれば良い。ここにモデルになるべき。 1. 幕屋、神殿、教会の主人は三位一体の神様で、鍵はキリストだ。 (ユダヤ人は <u>真の祭司、預言者、王</u> を逃したのだ。この三つを合わせた単語がキリストだ。キリストを通して、三位一体の神様の臨在、神の子どもになる) 2. 三つの祭りの行事はしたが、意味を分らないユダヤ人 (過越祭は救い、五旬節は聖霊の力、仮庵祭は御座の背景) 3. 三つの庭を分かる教会 (異邦人の庭、祈りの庭、子どもたちの庭) 4. 旅人の庭 (教会は未信者の憩い場もなければならぬ) 5. 霊的問題、障がいがある人が行くことができる教会 6. 237、5 千種族の指導者、RT、TCK 訓練を受けて休む所 7. 教役者、重職者が一人で霊的に力を受けて祈るシステムがない。 △神様が願われる所にいるとき、すべてが回復する。 □本論_テサロニケ教会はどんな教会だったのか 1. 使 17:1-9 で始まった教会- <u>力</u> の福音を持っている教会 1) 彼らが-パウロとそのチーム 2) いつものように 3) 会堂に 4) 三回の安息日 5) キリストの当為性を説明-十字架の死と復活の理由、キリストが必要なる理由、キリストを知らなければ滅びる。 2. I テサ 1:1-7 <u>原色福音</u> 1) I テサ 1:3 信仰の働き、望みの忍耐、愛の労苦 2) I テサ 1:5 言葉だけでなく、力と聖霊と大きな確信を伴って 3) I テサ 1:7 マケドニアとアカイアとすべての人の模範 3. I テサ 1:1-2 永遠の福音 1) メッセージ (書簡) -祈るとき、いつも記憶したテサロニケ教会にメッセージを送ったことは、時代を送ったのだ。 2) シルワノ (使 16:19-40) -監獄で奇跡が起こった夜にパウロとともに 3) テモテ-パウロが石に打たれて死んで再び入ってキリストを宣べ伝えたりステラ出身 4) ヤソン △力の福音、原色福音、永遠の福音、ここから一つでもはずれてはいけない。 □結論_答え受けることが確実なので <u>器を準備</u> 1. すべての民族が通じる福音、237-5000 種族が来ることができる教会→世界の門が開かれるべき 1) 多民族重職者 2) 多民族教役者 3) 一般信徒専門家宣教師が多くいるべき 2. 重職者が一つの国のやぐらを私たちの教会に建てなさい。資料があつて、来てても良い部屋が必要 3. 今日の祈りのやぐらを建てなければならない。
△最も重要なのが、福音を味わう祈りで幸せでなければならない。イエス様がカルバリの丘ですべての問題を解決された後に、オリーブ山に呼ばれて世界福音化できるミッションを与えられた。それが 7 つのやぐらだ。三位一体の神様の奥義、御座の祝福、過去、現在、未来、力、暗闇の権威を砕く奥義と、ものすごい未来も入っている。7 旅程と 3 道しるべだ。聖霊の導きを受ける使 13:1-4、使 16 章の門が閉ざされたと思ったがマケドニアに、使 19 章のローマという道しるべが出て来た。これをイエス様は、40 日間メッセージで与えられた。 □本論 1. このときから、真の感謝が出てくる。 1) 心より感謝が出てくるとき、この傷が癒される。 2) 多くの癒やしが起こる。 3) 完全に暗闇の勢力が崩れる。 2. みことばが生きる。 1) 世の中こことで刻印されて、神様のみことばと合わなくて、信じられない。 2) すべての教会は講壇で牧師の説教でなく、神様のみことばとして聞かなければならない。 3) みことばは生きていて力があるので、必ず流れが見える。 3. 神様に向けた集中ができる。 1) 集中できなければ考え、心、精神が分裂して、とんでもない集中である執着と中毒になる。 2) 次世代が霊的サミットが先に成り立たなければならない。 3) このとき、神様の重要な作品が出てくるプラットフォーム、多くの人を生かすことができる見張り台が立つようになって、霊的なアンテナとなる。 4. 癒やし 1) 私を癒やし 2) 教会を癒やし 3) 世の中を癒やし 5. 未来 1) 祈りの中で未来が見えて、神様のみことばが私と疎通して、そのみことばの導きを受ける。 2) 神様が造られた私、私のこと、神様が送られた私の現場が見える。 3) ヨセフがサミットの座に上がると王もついて来るしかなかった。 △祈りを分らない人は、ずっと他の導きを受けるようになる。キリストが与えられた祝福を回復すべきだ。これを味わっていれば、ポジションを心配しなくてもよくて、プライドを保つ必要がない。 □結論_黙 8:3-5 私たちの祈りは、器にみな入れられて、全部、神様の前に運ばれる。今日も、私たちの最高の答えがあれば、祈るのだ。			